

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要

課題

LGBT および性的少数者をめぐる社会的ダイバーシティの実現に関する研究

研究テーマ名

生殖補助医療・社会的養護によるLGBTの家族形成支援システムの構築

責任機関

立命館大学

研究実施期間

平成30年10月～2021年9月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	二宮 周平	立命館大学・法学部・教授
グループリーダー	中塚 幹也	岡山大学・保健学研究科・教授
グループリーダー	白井 千晶	静岡大学・人文社会科学部・教授
分担者	石原 理	埼玉医科大学・医学部・教授
分担者（実務者）	荒木 晃子	生殖心理カウンセラー
分担者（実務者）	藤田 圭以子	産婦人科医
分担者	遠矢 和希	国立循環器病研究センター・特任研究員
分担者	日比野 由利	金沢大学・医学系・助教
分担者	谷口 洋幸	金沢大学・国際基幹教育院・准教授
分担者（実務者）	山下 敏雅	弁護士
分担者	建石 真公子	法政大学・法学部・教授
分担者	渡邊 泰彦	京都産業大学・法学部・教授
分担者	梅澤 彩	熊本大学・熊本創生推進機構・准教授

配分（予定）額

（単位：円）

平成30年度	平成31年度 （2019年度）	2020年度	2021年度
2,600,000円	4,270,500円	4,270,500円	2,372,500円

※平成31年度（2019年度）・2020年度・2021年度については予定額

研究目的の概要

LGBTカップルが子どもと家族を形成することを保障するために、①当事者のニーズと関係者の意識を把握し、②ときに対立する当事者間の利益や生命倫理上の問題、社会的規範の観点から克服すべき課題を明らかにした上で、③子の出自を知る権利、子の養育環境の安定を含む子の福祉を実現し、家族形成に深く関わる精子・卵子等の提供者（以下、ドナー）、代理懐胎者、社会的養護（養子縁組や里親制度）の実親の尊厳を確保する法制度、④必要な情報提供と適切な医療及びカウンセリングを組み合わせた当事者支援、⑤医療機関・行政・福祉団体等の連携について検討し、法制度、当事者支援と連携のシステムを含む包括的な提案を行う。

研究計画の概要

家族形成を希望するLGBT当事者の意識とニーズ、関係者（ドナー等、養育者等）およびその家族の意識と支援ニーズを明確にするために、面接調査と当事者参加のワークショップを行う。LGBT当事者の家族形成を生殖補助医療あるいは社会的養護により可能としている、あるいは可能とする方向で議論が進んでいる国・地域について、その背景、議論、実情を訪問調査によって明らかにする。対象国は、英国、ニュージーランド、オランダ、フランス、台湾である。研究成果を提案するシンポジウム、海外からの研究者・実務者を招聘しての国際シンポジウムを開催する。